

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 1 区分

【発行日】平成20年8月7日(2008.8.7)

【公表番号】特表2008-503221(P2008-503221A)

【公表日】平成20年2月7日(2008.2.7)

【年通号数】公開・登録公報2008-005

【出願番号】特願2007-516840(P2007-516840)

【国際特許分類】

C 1 2 N 15/09 (2006.01)

C 1 2 N 1/15 (2006.01)

C 1 2 N 1/19 (2006.01)

C 1 2 N 1/21 (2006.01)

C 1 2 N 5/10 (2006.01)

A 6 1 K 39/12 (2006.01)

A 6 1 P 31/12 (2006.01)

【F I】

C 1 2 N 15/00 Z N A A

C 1 2 N 1/15

C 1 2 N 1/19

C 1 2 N 1/21

C 1 2 N 5/00 A

A 6 1 K 39/12

A 6 1 P 31/12 1 7 1

【手続補正書】

【提出日】平成20年6月17日(2008.6.17)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

PRRSV ORF 1 DNA 由来の少なくとも 21 の連続したヌクレオチドを有する、PRRSV ORF 1 DNA の第一の部分領域と、適切な医薬的担体とを含む、PRRSV に対する免疫反応を惹起しうるワクチン。

【請求項 2】

前記部分領域が、配列番号 1 - 14 のいずれか 1 つと少なくとも 85 % の配列配列同一性をもつ配列およびそれらの組合わせからなる群より選ばれる配列由来の少なくとも 150 の連続したヌクレオチドを有する請求項 1 に記載のワクチン。

【請求項 3】

前記部分領域が、配列番号 1 - 6、9、10 のいずれか 1 つと少なくとも 85 % の配列同一性をもつ配列およびそれらの組合わせからなる群より選ばれる請求項 2 に記載のワクチン。

【請求項 4】

ORF 1 以外の PRRSV ORF 由来の最少 21 の連続したヌクレオチド、PRRSV ORF 1 由来の少なくとも 21 の連続したヌクレオチド、およびそれらの組合わせからなる群より選ばれる PRRSV 由来の DNA の部分領域をさらに含む、請求項 1 に記載

のワクチン。

【請求項 5】

PRRSV 感染に対する免疫反応惹起に有効な他の組成物をさらに含む、請求項 1 に記載のワクチン。

【請求項 6】

前記 PRRSV ORF 1 が PRRSV の毒性株から誘導される、請求項 1 に記載のワクチン。

【請求項 7】

助剤、賦形剤およびそれらの組合わせからなる群より選ばれる成分をさらに含む、請求項 1 に記載のワクチン。

【請求項 8】

PRRSV ORF 1 DNA の部分領域由来の少なくとも 21 の連続したヌクレオチドを含む組成物を動物に投与する工程、およびその免疫反応誘発を生起させる工程を含む方法である、PRRSV 感染症に感染しやすい動物に抗 PRRSV 免疫反応を惹起する方法。

【請求項 9】

前記組成物の 2 回目の投与を供する工程をさらに含む請求項 8 に記載の方法。

【請求項 10】

前記部分領域が、配列番号 1 - 14 のいずれか 1 つと少なくとも 85 % の配列同一性をもつ配列およびそれらの組合わせからなる群より選ばれる配列由来の少なくとも 150 の連続したヌクレオチドを含む請求項 8 に記載の方法。

【請求項 11】

前記部分領域が、配列番号 1 - 6、9、10 のいずれか 1 つと少なくとも 85 % の配列同一性をもつ配列およびそれらの組合わせからなる群より選ばれる請求項 10 に記載の方法。

【請求項 12】

前記組成物が、ORF 1 以外の PRRSV ORF 由来の最少 21 の連続したヌクレオチド、PRRSV ORF 1 由来の少なくとも 21 の連続したヌクレオチド、およびそれらの組合わせからなる群より選ばれる第二の DNA 部分領域をさらに含む、請求項 9 に記載の方法。

【請求項 13】

PRRSV 感染に対する免疫反応惹起に有効な第二の組成物をさらに含む、請求項 9 に記載の方法。

【請求項 14】

前記組成物が、助剤、賦形剤およびそれらの組合わせからなる群より選ばれる成分をさらに含む、請求項 9 に記載の方法。

【請求項 15】

少なくとも PRRSV ORF 1 DNA の部分領域を含むベクター。

【請求項 16】

前記ベクターがプラスミドである請求項 15 に記載のベクター。

【請求項 17】

前記 PRRSV ORF 1 DNA の部分領域が、PRRSV ORF 1 DNA 由来の少なくとも 21 の連続したヌクレオチドを含む請求項 15 に記載のベクター。

【請求項 18】

前記 PRRSV ORF 1 DNA の部分領域が、配列番号 1 - 14 のいずれか 1 つと少なくとも 85 % の配列同一性をもつ配列およびそれらの組合わせからなる群より選ばれる配列由来の少なくとも 150 の連続したヌクレオチドを有する請求項 17 に記載のベクター。

【請求項 19】

前記ベクターが、ORF 1 以外の PRRSV ORF 由来の最少 21 の連続したヌクレオチド、PRRSV ORF 1 由来の少なくとも 21 の連続したヌクレオチド、およびそれらの組合わせからなる群より選ばれる PRRSV DNA の第二の部分領域をさらに含む、請求項 15 ~ 18 のいずれかに記載のベクター。

【請求項 20】

前記 PRRSV DNA が PRRSV の毒性株から誘導される、請求項 15 に記載のベクター。

【請求項 21】

PRRSV ORF 1 DNA 由来の少なくとも 21 の連続したヌクレオチドを含むプラスミドを含有する細胞。

【請求項 22】

前記プラスミドが、配列番号 1 - 14 のいずれか 1 つと少なくとも 85 % の配列同一性をもつ配列およびそれらの組合わせからなる群より選ばれる配列由来の少なくとも 150 の連続したヌクレオチドをさらに含む請求項 21 に記載の細胞。

【請求項 23】

前記プラスミドが、ORF 1 以外の PRRSV ORF 由来の最少 21 の連続したヌクレオチド、PRRSV ORF 1 由来の少なくとも 21 の連続したヌクレオチド、およびそれらの組合わせからなる群より選ばれる PRRSV DNA の第二の部分領域をさらに含む請求項 21 に記載の細胞。

【請求項 24】

前記 PRRSV DNA が PRRSV の毒性株から誘導される、請求項 21 に記載の細胞。